

学校施設のあり方に係る今後の調査の進め方について（案）

令和 7 年 9 月 8 日

1 8 月 8 日の厚生文教常任委員会における主な意見

(1) 参考人の候補者

- ・地域や自治会の立場から意見聴取として自治会長や地域担当職員
- ・保護者の立場からの意見聴取として小田原市 P T A 連絡協議会
- ・他自治体の成功・失敗事例から課題を把握している人

(2) 資料請求

- ・実際に市内の学校の雨漏りの状況がわかる動画を撮影し提供いただく
- ・マネジメント計画、長寿命化計画に資する資料
- ・老朽化している施設の費用対効果がわかる予算資料

(3) 現地視察

- ・8 月 2 1 日に市内の白山中学校と大窪小学校の現地視察を実施

2 今後の調査の方向性について

学校施設のあり方に関する多様な意見を踏まえ、学校施設についての理解を深めるため、先進事例の現地視察を追加で行うとともに、本市の現状と他自治体事例との比較について参考人招致を行う。

所管に対し、老朽化している施設の費用対効果やマネジメント計画について資料請求または現状の計画の策定状況の説明を受ける。

3 参考人招致の概要

日時	調査項目	内容
11 月 19 日 午後 1 時 30 分から	本市の現状を踏まえた近年における 他自治体の事例との比較について	【参考人招致】 千葉大学 グランドフェロー (名誉教授) 柳澤 要

4 スケジュールのイメージ

7 月 4 日	・調査事項、目的、期間、方法等の決定
8 月 8 日	・学校施設の現状と課題の把握 ・今後の取組予定の説明と検討すべき課題の抽出
8 月 21 日	・白山中学校と大窪小学校の現地視察
9 月 8 日	・前回までの委員会を踏まえ、今後の調査の方向性の決定
9 月～10 月	・調整が整った場合は先進事例の現地視察の実施

11 月 19 日	・ 参考人への聴取
12 月定例会中	・ 所管課から現況、取組内容等について報告
1 月～3 月	・ 意見のとりまとめ（課題、提案等の協議）
5 月臨時会	・ 厚生文教常任委員長報告

令和 7 年度 厚生文教常任委員会行政視察日程（案）

項目 日程	視 察 市 (人口)	視 察 項 目
【第 1 日目】 11月 4 日（火） 午 後	広 島 県 尾 道 市 (125, 119人)	1 学校の適正配置について 尾道市では、安全性の確保や校舎の耐久性、適正な学校規模の確保の観点から中心部の小学校 3 校と、中学校 2 校の計 5 校を統合し、令和 7 年 4 月に小中一貫校である尾道市立尾道みなと小学校（小学校）と尾道市立尾道みなと中学校（中学校）を開校した。既存中学校の敷地内に新しい校舎を建設し、令和 9 年度供用開始予定としている。
【第 2 日目】 11月 5 日（水） 午 前	岡 山 県 岡 山 市 (710, 006人)	1 岡山芸術創造劇場ハレノワの活用について 岡山市では、市民に親しまれてきた岡山市民会館と市民文化ホールに代わる新たな文化芸術創造・発信拠点として岡山芸術創造劇場ハレノワを令和 5 年 9 月 1 日に開館した。 大型で多彩な演目に対応できる大劇場、可動型音響反射板を有し、生音の響きも楽しめる中劇場、固定の舞台や客席を置かずに自由な演出が可能な小劇場、日常の練習や小規模な公演にも使用可能なアートサロンを有している。また、飲食を伴う集会にも利用でき、コンベンション利用など、幅広いニーズに対応可能な施設となっている。
【第 3 日目】 11月 6 日（木） 午 前	愛 媛 県 今 治 市 (146, 206人)	1 今治版ネウボラについて 今治市では、0 歳から 18 歳までのすべての子育て世帯に寄り添い、こどもの成長や発達の過程に応じたきめ細かな支援を切れ目なく行うために、令和 4 年度の組織改正により、こども未来部にネウボラ政策課を新設し、子育て世帯の複雑多岐にわたる問題に一元的かつ総合的にアプローチする体制をスタートさせた。「ネウボラ」はフィンランド語で「アドバイスの場所、相談の場所」という意味で、妊娠期から就学前までの子育て家庭を支援する制度や支援拠点のことを指す。